

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 04020092

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	15	環境の保全	事業優先度	A		
単位施策	4	ごみ・し尿処理の推進	政策事務分類	1	単独自治事務(例規)	
事業名	し尿等処理手数料助成事業		見直し年度			
事業期間	平成26年度～平成27年度		担当課	4	住民生活課	
事業主体	町		関係課	#N/A		
事業指標	助成金額		ハード/ソフト事業区	2	ソフト事業	
事業目標	適正なし尿処理		関係例規・法令名	有	雄武町し尿処理手数料助成金交付要綱	
住民参加	無		関係個別計画名			
住民協働						

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	し尿等処理手数料助成金		し尿等処理手数料助成金交付 (10リットル当たり20円)	し尿等処理手数料助成金交付 (10リットル当たり10円)		
	し尿処理手数料が大幅な値上げが行われたため、町民の負担軽減のため、助成金の交付を行う。					
計 画 事 業 費	事業費(千円)	4,500	0	3,000	1,500	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	4,500		3,000	1,500		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	3,220	0	1,903	1,317	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	3,220		1,903	1,317		
特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等) し尿等処理手数料助成金交付 (10リットル当たり20円)	(実施内容等) し尿等処理手数料助成金交付 (10リットル当たり10円)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		※事務事業評価結果 A-継続/縮小	※事務事業評価結果 A-終了	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
前期計画からの継続	年度目標値					
	年度達成率	#DIV/0!	63%	88%	#DIV/0!	#DIV/0!
第6期計画への継続	全体達成率	0%	42%	72%	72%	72%
	備考欄					

事業名	し尿等処理手数料助成事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	新谷 朋人
		評価者 作成者 職氏名	環境衛生係長	武藤 知憲

様式1
平成27年度実施
平成28年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	し尿等の汲取実施者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	し尿等汲取料金助成金額	
【抱える課題やニーズは】	し尿処理手数料の大幅な値上げに係る負担軽減	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	本町は、し尿等の汲取りを要する世帯数が多いことから、し尿処理手数料の値上げの影響を緩和し、負担軽減を図る	① し尿汲取量助成金額	目標年度	平成27年度
			目標値	1,317千円
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	汲取料金の負担軽減による生活の安定	②	実績値	1,317千円
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	汲取業者へ助成金の支出	し尿等の汲取業者には、町内で汲取る、し尿等の汲取料金を10ℓ当たり90円のところ、依頼者に対し80円を請求し、差額10円を町から助成金として支出負担しています。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	本町は、し尿等の汲取りを要する世帯が多く、処理手数料の値上げは生活に影響を及ぼすことから、段階的な負担とするための緩和措置が必要と判断します。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	町内のし尿等汲取りを要する世帯に対し、10ℓ当たり10円の助成を行うことで、低所得者世帯等の負担が緩和されたことから、有効性があると判断します。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	助成対象を汲取業者としたことにより、汲取依頼者が行うべき、申請事務等の軽減が図られていることから効率的であると判断します。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	人員削減	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	汲取りに対する助成については、2箇年に限定した事業であり、し尿等の汲取りに対しては、受益者にも負担があることから公平性は保たれていると判断します。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
し尿等の処理手数料の大幅な値上げは、地域住民、特に低所得世帯に大きな影響を生じさせることから、負担軽減措置を行い生活の安定を維持することは必要であり、2箇年の軽減対策を実施したことに伴い目標は達成されたと判断します。		

今後の展開方向
(Action)

終了		
今後、し尿汲取額が上昇した場合は、汲取料に対する再度の助成措置について、検討することが必要と判断しますが、現時点においては、2箇年の負担緩和措置対策が終了したことに伴い、本事業は終了となります。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止